

注意：8 科目全てを解答すること

科目名： 数 学 \_\_\_\_\_ 点

学籍番号： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

問題 1

次の常微分方程式を解け

$$\frac{dy}{dx} = \frac{y-1}{xy}$$

問題 2

ベクトル  $\mathbf{a} = 2\mathbf{i} + \mathbf{j} - 3\mathbf{k}$  と  $\mathbf{b} = 3\mathbf{i} + \mathbf{j} + 2\mathbf{k}$  を隣接する 2 辺とする平行四辺形の面積を求めよ

注意：8科目全てを解答すること

科目名：工業力学 1, 2

\_\_\_\_\_点

学籍番号：\_\_\_\_\_

氏名：\_\_\_\_\_

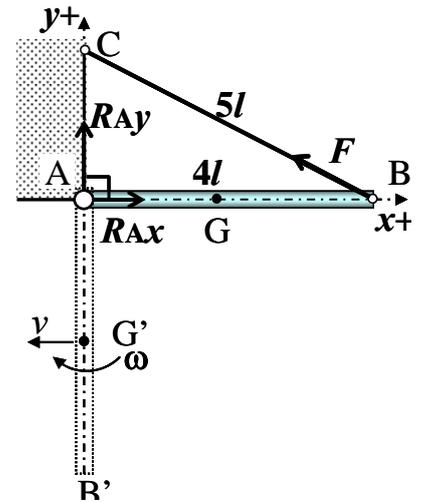
注)解答順は自由. 解答は解答用紙にのみ記述すること. また問題の中で  $g$  は重力加速度 [ $m/s^2$ ] とする.

I 質量  $m$  [kg], 長さ  $4l$  [m] の一様な太さの細い棒 AB の A が回転支点となり, B が長さ  $5l$  [m] のロープ BC により  $\angle BAC$  が直角となるように静止している. 図のように  $xy$  座標軸をとり, ロープの張力を  $F$ , 支点 A の  $x$  方向反力  $R_{Ax}$ ,  $y$  方向反力  $R_{Ay}$  としたとき次の問いに答えなさい. なお, つりあいの式は「.....=0」の形式で解答すること.

- (1)  $x$  方向の力のつりあい方程式を  $R_{Ax}$ ,  $R_{Ay}$ ,  $F$ ,  $m$ ,  $l$ ,  $g$  のうち必要なものを用いて表しなさい.
- (2)  $y$  方向の力のつりあい方程式を  $R_{Ax}$ ,  $R_{Ay}$ ,  $F$ ,  $m$ ,  $l$ ,  $g$  のうち必要なものを用いて表しなさい.
- (3) 支点 A まわりのモーメントのつりあい方程式を  $R_{Ax}$ ,  $R_{Ay}$ ,  $F$ ,  $m$ ,  $l$ ,  $g$  のうち必要なものを用いて表しなさい.

II つぎにロープ BC を切断し, B 点が図のように B' 点 (A 点の真下) の位置に到達したとき, 次の問いに答えなさい. ただし質量  $M$ , 長さ  $L$  の棒の重心 G 回りの慣性モーメント  $I_G$  は  $ML^2/12$  である.

- (1) 棒の角速度  $\omega$  を  $m$ ,  $l$ ,  $g$  のうち必要なものを用いて表しなさい.
- (2) A 点の  $y$  方向反力  $R_{Ay}$  を  $m$ ,  $l$ ,  $g$  のうち必要なものを用いて表しなさい.



注意：8 科目全てを解答すること

科目名： 材料力学

\_\_\_\_\_点

学籍番号： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_

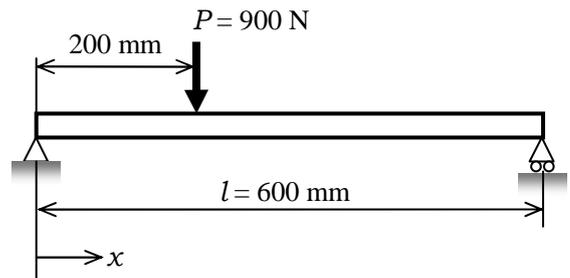
問題1 引張強さ  $\sigma_B = 960 \text{ MPa}$ 、縦弾性係数  $E = 210 \text{ GPa}$  である鉄鋼材料を使用して、長さ  $l = 1000 \text{ mm}$  の丸棒形状の部材を設計する。この部材には、軸方向に  $P = 40 \text{ kN}$  の引張力が負荷される。ただし、軸方向の伸びは  $\Delta l = 2.0 \text{ mm}$  以内に抑えたい。また、引張強さに対する安全率を  $\alpha = 1.2$  とする。このとき、この部材の直径  $d$  はいくらにしたら良いか求めよ。問題を解く過程を解式欄に、最終的答えを答え欄に記載せよ。

(解式欄)

(答え欄) 直径  $d =$  \_\_\_\_\_ mm

問題2 図のように、長さ  $l = 600 \text{ mm}$  のまっすぐな棒でできている単純支持はりの左端から  $200 \text{ mm}$  の位置に、集中荷重  $P = 900 \text{ N}$  が作用している。このはりに発生する最大曲げ応力  $\sigma_{\max}$  の大きさ、左端から最大曲げ応力発生位置までの距離  $x$ 、および曲げ応力の方向を答えよ。なお、はりの断面形状は1辺  $20 \text{ mm}$  の正方形とする。問題を解く過程を解式欄に、最終的答えを答え欄に記載せよ。

(解式欄)

(答え欄)  $\sigma_{\max} =$  \_\_\_\_\_ MPa,  $x =$  \_\_\_\_\_ mm, 方向： \_\_\_\_\_

注意：8 科目全てを解答すること

科目名： 振動工学・機構学

\_\_\_\_\_点

学籍番号： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_

問 1. あるばねに質量をつり下げたら、3 mm 伸びた。

(1) この系の固有振動数をもとめよ。

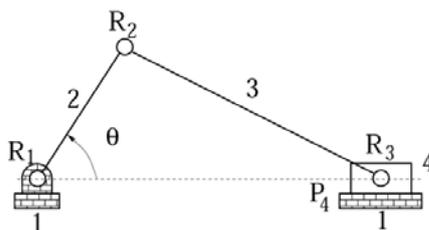
(2) この系に初期変位 5 mm、初期速度 10 cm/s を与えたときの最大振幅、最大加速度をもとめよ。

問 1 の解答欄

(1)  $f_n = \dots\dots\dots$ [Hz]

(2)  $X_{\max} = \dots\dots\dots$ [mm],  $\alpha_{\max} = \dots\dots\dots$ [m/s<sup>2</sup>]

問 2. 図に表す往復スライダークランク機構の全ての瞬間回転中心を求めよ。



注意：8科目全てを解答すること

科目名： 流れ学・熱力学

\_\_\_\_\_点

学籍番号： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_

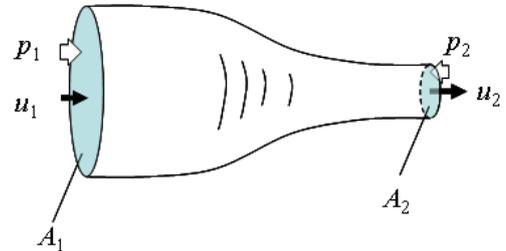
〔熱力学〕

1. 次の ( ) 内に適当な語句・記号を入れ文章を完成せよ。
- (1) 圧力を  $p$ 、温度を  $T$ 、比容積を  $v$ 、密度を  $\rho$  で表すとき、 $p v = ( \quad )$ 、又は  $p = ( \quad )$  という状態式を満足する気体を ( ) または ( ) という。実在の多くの気体は高圧、低温を除いて、ボイル・シャルルの法則として知られるこの関係を満足するので、近似的に ( ) としてよい。
- (2) 熱機関の理想的なサイクルとして、2つの等温変化と2つの断熱変化からなる可逆サイクルを ( ) という。
- (3) 与えられた温度の高温熱源と低温熱源の間で作動する可逆機関の ( ) は、すべてカルノー機関の ( ) に等しく、不可逆機関の ( ) はそれよりも小さい。これを ( ) の定理という。
2.  $4 \times 10^4 \text{ k J / k g}$  の発熱量をもつ灯油を 1 時間に  $0.8 \text{ k g}$  消費する灯油ヒーターと同じ効果を電熱で得るには何  $\text{k W}$  の電気ヒーターが必要か。
- 〔解〕

〔流れ学〕

3. 図のような絞りのある管路が水平に置かれている。今、この管路を流れる水の流量  $Q$  が毎分  $1.20 \text{ m}^3$  であった時以下の問いに答えなさい。

- (1) 各部の断面積が  $A_1 = 50.0 \text{ cm}^2$ 、 $A_2 = 25.0 \text{ cm}^2$  である時、各断面の平均流速  $u_1 [\text{m/s}]$ 、 $u_2 [\text{m/s}]$  を求めなさい。
- 〔解〕



- (2) 管の入口と出口間にベルヌーイの定理を適用する時に成り立つ式を書きなさい。ただし密度は  $\rho$  であるとする。他の変数は、図中に示すものを使いなさい。
- 〔解〕

- (3) 今、入口の圧力が  $p_1 = 0.250 \text{ MPa}$  であった時、出口の圧力  $p_2 [\text{MPa}]$  を求めなさい。ただし、水の密度は、 $1000 \text{ kg/m}^3$  とする。
- 〔解〕

注意：8 科目全てを解答すること

科目名： C プログラミング

\_\_\_\_\_点

学籍番号： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_

問 1 2 行 2 列の正方行列について、その成分 (double 型) を入力し、逆行列を計算してその成分を表示する C 言語のプログラムを、解答欄のプログラムの空欄を埋めて完成させなさい。ただし、入力した行列の行列式がゼロになった場合は、「逆行列を計算できません」と表示する。また、プログラムは、解答欄に定義された 5 個の変数だけを用いて作成しなさい。

$$\begin{bmatrix} b_{00} & b_{01} \\ b_{10} & b_{11} \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} a_{00} & a_{01} \\ a_{10} & a_{11} \end{bmatrix}^{-1} = \frac{1}{a_{00}a_{11} - a_{01}a_{10}} \begin{bmatrix} a_{11} & -a_{01} \\ -a_{10} & a_{00} \end{bmatrix}$$

問 1 の解答欄

```
#include <stdio.h>
```

```
int main()
```

```
{
```

```
    int i, j;
```

```
    double a[2][2], b[2][2], det;
```

```
    //行列の成分を入力
```

```
    //行列式を計算する
```

```
//逆行列を計算して成分を表示. 行列式が零なら
```

```
// 「逆行列を計算できません」と表示して終了
```

```
    return 0;
```

```
}
```

注意：8 科目全てを解答すること

科目名： システムダイナミクス

\_\_\_\_\_点

学籍番号： \_\_\_\_\_

氏名： \_\_\_\_\_

注：答えの導出過程を明示せよ。

1. 伝達関数  $G(s) = \frac{1}{s+3}$  で示される系の単位ステップ応答  $y(t)$  を求めたい。

$$Y(s) = \frac{1}{s+3} \times \frac{1}{s} \quad \text{となるので}$$

$$Y(s) = \frac{a}{s+3} + \frac{b}{s} \quad \text{と置くとき}$$

$a$  と  $b$  はいくらになるか。

また求めた  $a$  と  $b$  を用いて、逆ラプラス変換により  $y(t)$  を求めよ。

ただし  $t$  は時間、 $Y(s)$  は  $y(t)$  のラプラス変換を示す。

2. 上の問題と同様にして伝達関数  $G(s) = \frac{1}{(s+1)(s+2)}$  で示される系の

単位ステップ応答を求めよ。

注意：8 科目全てを解答すること

科目名：電気物理、電気・電子回路

\_\_\_\_\_点

学籍番号：\_\_\_\_\_

氏名：\_\_\_\_\_

問題1 真空中で、図1のように、直角二等辺三角形の直角の頂点Aに $+2Q[C]$ 、 $45^\circ$ の頂点それぞれB、Cに点電荷  $+Q[C]$ 、 $-Q[C]$  があり ( $Q>0$  である)、AB 間、AC 間の距離を  $a[m]$  とする。ただし、真空の誘電率は  $\epsilon_0 [F/m]$  とせよ。

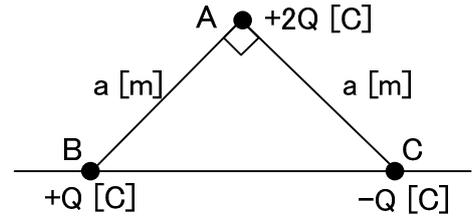


図1

問1 直角の頂点Aにある $+2Q [C]$ に働く力と方向を求めよ。

問2 直角の頂点Aでの電界の強さと方向を求めよ。

解答欄 1 大きさ \_\_\_\_\_ [ ] 方向 \_\_\_\_\_

2 強さ \_\_\_\_\_ [ ] 方向 \_\_\_\_\_

方向については、紙面に対して左、右、上、下などにより解答せよ。

問題2 図2の回路について以下の問いに答えよ。

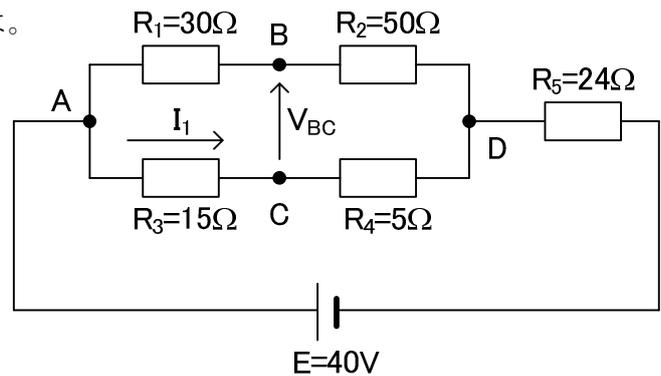
問1 AD間の合成抵抗 $R_{AD}$ を求めよ。問2 抵抗 $R_3$ を流れる電流 $I_1$ を求めよ。問3 点BC間の電位 $V_{BC}$ を求めよ。

図2

解答欄 1.  $R_{AD} =$  \_\_\_\_\_ [ ]2.  $I_1 =$  \_\_\_\_\_ [ ]3.  $V_{BC} =$  \_\_\_\_\_ [ ]

注) 解答欄の[ ]には、単位を必ず記入すること。